

授 業 科 目	装具学実習Ⅲ（下肢装具・側弯症用装具）		
教 育 内 容	専門分野	装具学	
担 当 教 員	中村喜彦、星野元訓、大谷巧		
学 年	2	単 位 数	4
開 講 時 期	前期（木曜日 1-4 限） 後期（月曜日 1-4 限）	時 間 数	実習 180 時間

■ 授業概要

本科目は、「下肢装具」「側弯症用装具」の2プロジェクトより構成され、それぞれの装具の疾患に対する適合理論、製作技術を習得する。

< 下肢装具 >

第1回から第78回までで行う。「継手付プラスチック短下肢装具」、「両側支柱付長下肢装具」、「UCBL Shoe Insert」、「PTB 免荷装具（免荷十分型）」、「坐骨支持長下肢装具（免荷不十分型）」について、その使用目的、製作方法、適合の知識と必要な基本的技術を教授する。

< 側弯症用装具 >

第79回から第90回までで行う。側弯症、および装具療法について学習する。学生をモデルに2種類（ミルウォーキー型、ボストン型）の側弯症用装具の採型から適合を通して、側弯症用装具における矯正理論や製作方法を習得する。

■ 到達目標

< 下肢装具 >

- 1) 下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し実践できる。
- 2) 不適合の原因を理解し対処できる。

< 側弯症用装具 >

- 1) 側弯症の疾患上の特徴、および側弯用装具による装具療法の理論を理解する。
- 2) 側弯症用装具の製作・適合技術を理解する。

■ 授業内容

第1-8回	継手付	採型、モデル修正	中村 喜彦 大谷 巧
第9-14回	プラスチック	プラスチック成形、仮合せ準備、仮合せ	
第15-22回	短下肢装具	適合修正、仕上げ、評価	
第23-30回	両側支柱付 長下肢装具	採寸・トレース、AFO レイアウト、AFO 製作	中村 喜彦 大谷 巧
第31-34回		KAFO レイアウト、支柱曲げ加工	
第35-40回		半月曲げ加工、組立て、仮合せ	
第41-48回		修正、仕上げ	
第49-50回		適合評価	
第51-52回	UCBL	採型・修正	中村 喜彦 大谷 巧
第53-54回	Shoe Insert	プラスチック成形、適合評価（Demo）	
第55-62回	PTB 免荷装具	採型、モデル修正、プラスチック成形、支柱曲げ加工	
第63-70回		あぶみ曲げ加工、仮合せ準備、仮合わせ、修正、評価	

第 71-74 回	坐骨支持	採型・モデル修正	中村 喜彦
第 75-78 回	免荷装具	プラスチック成形、金属曲げ加工、仮合せ	大谷 巧
第 79-81 回	側弯症用装具	側弯症用装具採型、陽性モデル製作	星野 元訓 中村 喜彦 大谷 巧
第 82-84 回		陽性モデル修正	
第 85-87 回		側弯症用装具成形・組立	
第 88-90 回		側弯症用装具適合チェック、および修正	

■ 評価方法

2つのプロジェクトの総合評価とし、配分は次の通りとする。
 下肢装具 90%、側弯症用装具10%
 なお、各プロジェクトにおいて60%以上の達成を必要とする。

各プロジェクトにおける評価配分は次の通りとする。

<下肢装具>

小テスト（実習内容）10%、製作実習60%、中間テスト（実習内容）15%、
 期末テスト（実習内容）15%

<側弯症用装具>

小テスト（実習内容）20%、期末テスト（実習内容）40%、製作実習40%

■ 教科書

装具学 第4版, 医歯薬出版
 義肢装具のチェックポイント 第9版, 医学書院
 新編 装具治療マニュアル, 医歯薬出版

■ 留意事項

<担当教員の実務経験>

星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として24年間勤務。

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に5年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として17年間勤務。

大谷巧：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に15年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として1年間勤務。